

ウッドバッジ実修所第二教程 ボーイスカウト課程 セッションの目標

| | セッション | セッションの目標 |
|-----|-------------------------------------|---|
| 第1日 | § 1 実修所について (30分) | 1. ウッドバッジ実修所の目的と目標を理解する。 2. ウッドバッジ実修所の運営を理解する。 3. コースの日程を理解する。 |
| | § 2 指導者の役割と責務 (90分) | 1. ボーイスカウト隊における指導者の役割とその責務を再確認し理解する。 2. 自己の訓練ニーズを整理し認識する。 |
| | § 3 隊集会 (90分) | 1. ボーイスカウト隊における指導者の役割とその責務を再確認し理解する。 2. 自己の訓練ニーズを整理し認識する。 |
| | § 4 ボーイスカウト隊のプログラム (180分) | 1. プログラムプロセスの要素を理解する。 2. ボーイスカウト隊の活動の目標とプログラムの関係を深く理解する。 3. スカウト教育法に沿ったプログラム展開について認識する。 4. 班制教育と進歩制度がプログラムに深くかかわることを理解する。 5. 年間プログラムの重要性を理解し、活用ができる。 |
| 第2日 | § 5 プログラム企画 (120分) | 1. ボーイスカウト隊のプログラムプロセスに沿った、プログラム企画・立案ができる。 2. スカウトスキルを活用したプログラム企画ができる。 3. スカウトの自発活動を促すプログラム企画ができる。 4. 班長会議の支援ができる。 |
| | § 6 プログラム計画 (120分) | 1. 企画に沿った隊集会計画書を作成できる。 2. 班制教育と進歩制度を十分に活かしたプログラムの展開ができる。 3. 班長訓練の重要性を理解し、班長訓練計画書の作成ができる。 4. 班長が班集会計画書を作成できるよう、指導ができる。 |
| | § 7 プログラム実習 I (180分) | 1. プログラムの実施展開について実際に必要な項目を理解する。 2. 活動における隊長の役割と責務を理解する。 |
| | § 8 プログラム評価 (60分) | 1. 活動後の評価の必要性について理解する。 2. 評価の方法について理解する。 3. 評価を行うことができる。 |
| | § 9 ちかいとおきて (90分) | 1. スカウト運動の原理を理解し、「ちかい」と「おきて」の関連性を理解する。 2. ボーイスカウト年代の特性を理解し、「ちかい」と「おきて」の実践を指導ができる。 3. 指導者自らが「ちかい」と「おきて」の実践を行うことの意義を理解する。 |
| 第3日 | § 10 プログラム実習 II (改善) (180分) | 1. プログラム評価を基に、より良い展開方法を計画できる。 2. プログラム開発の重要性を認識する。 3. プログラムプロセスを再確認する。 4. プログラムの繰り返しが必要ことを認識する。 5. ボーイスカウト活動を通して、スカウトの成長に貢献できる。 |
| | § 11 1級旅行の計画 (旅行準備を含む) (120分) | 1. 1級旅行のプログラム計画、準備ができる。 2. 隊長として班長へ1級旅行の指導ができる。 3. 1級旅行の教育的意義について理解する。 4. スカウトスキルを活用できる。 |
| | § 12 1級旅行 (評価を含む) (90分) | 1. 1級旅行が実施できる。 2. 計画の重要性について理解する。 3. 様々なスカウトスキル使い1級旅行を実施できる。 4. スカウトが1級旅行を行うことによって成長することを、体験を通して理解する。 5. 1級旅行の評価をし、評価することが新たなプログラム展開方法に結びつくことを理解できる。 6. 自隊のプログラムに反映することができる。 |
| 第4日 | § 13 スカウティングの技能 (180分) | 1. プログラム展開の要素であるスカウトスキルの重要性を理解する。 2. プログラムを立案するうえで、隊長として必要なスキルについて理解する。 3. スカウトスキルを習熟する。 4. 班長へスカウトスキルの指導ができる。 |
| | § 14 成人の支援と社会へのアプローチ (90分) | 1. ボーイスカウト部門の活動における成人の具体的活用方法について理解する。 2. 隊を取り巻く成人とのコミュニケーションの重要性を理解する。 3. 指導者自身が地域社会との関係を良好に保つことの意義を理解し、実践できる。 |
| | § 15 隊の運営と班制教育 (90分) | 1. 基本となる隊運営を再認識した上で自隊の運営上の問題を認識する。 2. 班制教育の重要性を理解する。 |
| | § 16 営火 (60分) | 1. スカウティングにおける営火の教育的意義について理解する。 2. 営火の基本的な要素について理解する。 |
| 第5日 | § 17 第三教程 (実務訓練) に向けて (90分) | 1. コースをふりかえり、自己評価をする。 2. 第三教程 (実務訓練) について理解する。 3. 役割と責務を果たすために継続的な自己研修の必要性を理解する。 |